

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 12-004

PDCA	事務事業名	半田運河活性化推進事業	部課等名	市民経済部観光課	担当	酒井		
					内線等	324		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち						
		節： 第1節 観光・産業の振興						
		基本施策： 1. 観光						
		単位施策： (1) 観光資源の活用						
		個別施策： ①観光資源の充実						
	根拠法令等	—						
	対象・目的	半田運河の景観や醸造の歴史・文化を活かしたイベントを充実させ、年間を通じて賑わいの創出を図る。						
	目的を達成するための手段・活動内容	・HOTORIプロジェクトによるイベント（brunch、SAKABA、朝市）やCanal Night、萬三の白モッコウバラ祭、伝統的な和 문화に親しむ桃の節句イベント等の、半田運河の景観や歴史・文化を活かしたイベントを実施し、半田運河をPRするとともに誘客を図る。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位	
		①半田運河HOTORI brunch来場者数				6,000	人	
		②半田運河HOTORI SAKABA来場者数				3,400	人	
		③半田運河HOTORI brunch 1回開催あたり平均出店数				27	店	
		事業費				13,566	千円	
		人件費				7,495	千円	
		総事業費				21,061	千円	
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位	
	①半田運河周辺観光入込客数 1人当たりの事業費				78	円		
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位	
		①半田運河周辺観光入込客数	実績値			270	千人	
			目標値			270		
			実績値					
			目標値					
		実績値						
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある			
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
		B						
		平成30年度から、半田運河HOTORIプロジェクトによるイベント（brunch、SAKABA、朝市）を実施し、半田運河の新たな魅力の創出と半田運河周辺の活性化につなげることができた。また、テレビや情報誌などのメディアにも取り上げられ、知名度が向上し、半田運河周辺観光入込客数の目標を達成することができた。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	拡充推進						
		半田運河のHOTORIイベントや、伝統的な和 문화に親しむイベントの拡充とともに、半田運河のブランディングとプロモーションを実施し、知名度・ブランド力の向上による誘客を促進し、さらなる賑わいの創出を図る。						
	平成31年度の目標	成果指標			目標値	単位		
		①半田運河周辺観光入込客数			430	千人		